



日本共産党 北区議会議員

# 野口まさと 区政レポート

のぐち将人

No.7 2015.12.15

発行：日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

info@noguchi-masato.com

ご相談は  
お気軽に 070-5658-0603

# マイナンバーの問題点

## 多額の区民負担も明らかに

### 北区の通知カード発送状況

マイナンバー通知カードは、10月から発送される予定でしたが、十条地域の皆様に話を伺いすると、11月中旬以降、ようやく皆様のお手元に届き始めたという状況のようです。

今区議会で、区は配送に12月までかかる」と説明しています。

### 届かないカードの取り扱いは？

11月末時点で区に戻ってきた通知カードは、当初の予想を超えて16400件(世帯)でした。最終的には28000世帯に通知カードが届かないとの見通しを区は示しています。

通知カードが配達されたときに不在の場合は、郵便局に7日間保

管され、その期間内に受け取らない場合は、区役所に戻されます。

その後3ヶ月たつて受け取りが無い場合は廃棄処分されます。

### 通知カードと個人番号カードは違います

送られてきた通知カードと共に、「個人番号カード」交付の申請用紙が、返送用の封筒と共に同封されています。

今回送られてきた通知カードと違い、個人番号カードの申請はあくまでも任意です。

区が作成している資料にも、「現時点では『個人番号カード』がないと、手続きが進まないような事務はありません」と明記されています。

お勤めの方は、この時期「給与所得者の扶養控除等申告書」の提

出を、事業者から求められます。ここには自分の個人番号を記載する枠がありますが、これも通知カードに記載された個人番号を記載すれば用は足りませんが、「個人番号カード」の作成を行わなくても問題はありませぬ。

様々な問題を残したまま

区はマイナンバーを扱う事務を、外部の委託業者を使うことを予定しています。

区内では10月に紙おむつ支給事業で、禁止されているはずの業務委託がおこなわれたうえ、委託を受けた業者が、利用者の個人情報を利用して営業用のダイレクトメールを送るといった個人情報漏洩問題があったばかりです。

こういった個人情報

漏れの危険があるまま制度がスタートすることも問題です。

### 多額の区民負担も明らかに

北区は制度導入にあたり、これまでに15.5億円もの費用負担をしています。

この制度は国で決定したものですから、実施に当たっては国が費用負担を行うべきです。

ところが区の負担に對しての国の補助金はわずか3億円程度。差し引き12億円余りは区民税からの支出ということとなります。

国の税金のみならず、地方自治体の税金まで使って、企業にお金を流す。マイナンバー制度には、国から強制された形で行われる公共事業的な側面があることも見過ごせません。

# 八百川孝 元区議 40年感謝の集いが開催 されました

12月6日に、赤羽会館にて「八百川孝さん40年感謝の集い」が開催され、花川区長や池内衆議院議員をはじめ、現職・元職の区議会議員、自治会やスポーツ団体の皆様など、これまで40年にわたってお付き合いのあった、様々な方々が出席しました。  
琴の演奏や40年間の区政の歴



史などを振り返るスライドの上映、参加者からのメッセージ、参加者全員の合唱など、あっという間の2時間半でした。

八百川元区議には、サッカーボー



ルに参加者が名前を寄せ書きしたものが、そしてこれまで八百川区議を40年にわたって支えていただいた奥様には、40本の赤いバラが記念に贈られました。



## 埼京線高架問題

12月8日に、十条地区まちづくり全体協議会、駅東プロック部会が、24名の参加者で開催されました。

前回は埼京線の高架計画と、東側側道設計画が示され、今回は、議論を今後どう進めるかが議題となりましたが、住民の皆様が前回求めた東京都の担当者は、今回も参加しませんでした。

協議会のあり方も議論となり、「自宅の建て替え時にセツトバックを行ったが、電柱は元の位置のまま。区に電柱の移設を求めても、対応してくれない」など、住民の皆様は地域が住みやすくなるための「まちづくり」を議論をしているのに対し、区は開発計画の住民合意を目的としているため、議論がかみ合わないのだと感じました。

また、立体交差推進の立場の方からも、複数案の検討は必要との意見が出されました。